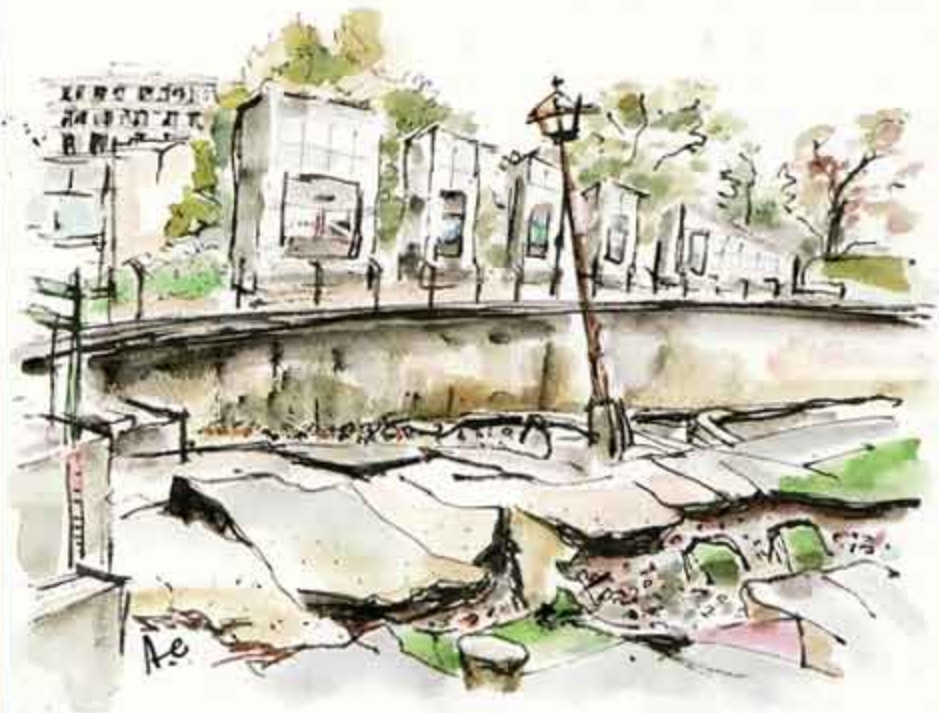


スケッチかんさい



神戸市中央区波止場町

被災地を想う

想像を絶する東日本大震災。これは地球の怒りだと思った。人間さまは消費社会にどっぷり浸かって、馬鹿騒ぎをしているが、地球は迷惑しているのだ!と叫んでいるように思えた。

16年前の阪神淡路大震災のとき。神戸・垂水にある職場にどんな経路で出社できるか考えた末、海上輸送に着目。JR弁天町経由で大阪港へ駆け込んだ。臨時の水上高速艇CAT便で、あっという間に着いた。上陸した神戸港・メリケン波止場の岸壁は大きく崩れ、ガードレールはひん曲がり、地震の揺れのすごさを感じた。

いま、その地震で崩れたままの状態を保存している震災メモリアルパーク。岸壁や復興した神戸港をスケッチしながら、遠く離れた被災地を思い、東北・関東の復旧と復興、そして支援の輪の広がりを祈った。

熱田 親憲